

つながり

令和6年3月号 第62号

発行責任者

センター長：與那嶺

編集者：名嘉山

沖縄市高原 1-1-38

☎ 098-923-0553

NPO法人きづき



第2回 圏域地域ケア会議

地域包括支援センター東部南地区

高台に避難
してください



地域と福祉事業所とともに図上訓練（DIG）

2月14日は地域包括支援センター東部南が主催する「第2回圏域地域ケア会議」を開催しました。参加者は東部南地区の自治会長、老人クラブ、民生委員、ボランティア、デイサービス、居宅ケアマネージャー、社協、相談支援事業所など、38名の参加がありました。

「災害時の地域連携について」をテーマに、自治会ごとに図上訓練（DIG）を行いました。地震・津波災害発生をリアルにイメージし「どこから、どこに、どのように避難するのか」を各自治会で防災マップを照らし合わせ、自由に意見を出し合い、より良い方法を話し合いながら進めていきました。

防災対策の視点で「地域の特徴」について考え、気付いたことを共有、被害を軽減する対策方法について共に考えることができました。



泡瀬地区の地図は、防災マップの津波ハザードマップで確認すると津波避難対象地域！

となっている。住民の防災意識を高め実践的な避難訓練が必要！時間との勝負！住民の最短の避難経路を考えていきたい。

泡瀬



高原

高原地区は、土砂崩れ、地滑り、傾斜地崩壊などが多い地域。

危険個所を把握して、津波避難ビルへ安全な避難経路で移動が行えるよう、日頃から防災に対する自助力を高めていけるようにしていきたい。



比屋根地区は、津波避難ビル、津波避難場所、指定緊急避難場所があり、災害時緊急避難通路が整備されている。

土砂災害、地滑り、家屋倒壊など危険な場所を把握して、安全に避難することができるようにしたい。

比屋根



与儀

与儀地区には災害時緊急避難通路がある。地域の特徴として土砂崩れ、地滑りや家屋倒壊などの危険個所が多い、避難場所まで安全に避難できるよう日頃から地域の特徴を把握し、自助力を高めていきたい。



きづきカフェ in 福祉文化プラザ



「きづきカフェ」=認知症カフェとは？

認知症の人やその家族が、地域の人や専門職とお互いに情報を共有し、理解し合う、交流の場です。介護者の負担軽減を目的としており、くつろぎながら、情報収集・情報交換、ストレス発散などができます。現在、東部南地区で定期開催している認知症カフェは「きづきカフェ」です。認知症カフェで地域の多くの方が、認知症を正しく理解し、適切なコミュニケーション方法を知ることによって、誰もが**住み慣れたまちで自分らしく生活をする**ことができます。これからも地域の公民館、福祉事業所、企業などと連携しながら地域のネットワークづくりを推進していきます。

毎月*第2金曜日*

午後2時～3時半

- *がんじゅう体操
- *ミニゲーム*小物作
- *うたごえ*ゆんたく～



三線～♪ピアノ～♪のボランティア演奏、みんなで楽しく歌います♪

きづきカフェ in 与儀

新たな集いの名前は～！

『ももとせ会』（百歳会）

～今は、人生100歳時代とされていますので～



与儀公民館で開催していたきづきカフェは、開催を重ねていく中で地域のニーズに合わせて高齢者サロンの活動になりました。昨年の12月から高齢者サロンの立ち上げに向けて準備を進めてきました♪

地域の情報を発信！

エフエムコザ
FMKOZA 76.1

a.m.10:00～11:00

まるっとつながるラジオ

まるラジ

※YouTubeで視聴できます♪



2月20日のまるラジ

今回は、社会福祉士を目指し包括支援センター西部南で実習中の学生、金城さんと名若さんをお招きしました。

- 🎵 私たちが社会福祉士を目指したわけ🎵
- 🎵 地域のサロンに参加！楽しいです🎵
- 🎵 お二人のリクエストは80年代の名曲🎵
- 🎵 大学での学びの実践体験にワクワク🎵

沖縄市地域包括支援センター東部南きづき

☎ 923-0553

地域包括支援センターとは

65歳以上の総合相談窓口です。
お気軽にご相談ください。

